

# めぐみイエス・キリスト教会

2023年4月30日(日)第五主日礼拝

午前10時より

週報「通算第655号」



## 2023年標題聖句

### 第 I ヨハネの手紙第5章4節～5節

《神から生まれた者はみな、世に勝つからです。私たちの信仰、これこそ、世に打ち勝った勝利です。世に勝つ者とはだれでしょう。イエスを神の御子と信じる者ではありませんか。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実  
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

## ◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】	
【賛美Ⅰ】	新聖歌392「主の愛の汝がうちに」p. 631
【交読文】	No.29 詩篇第95篇 p. 903
【賛美Ⅱ】	新聖歌127「墓の中に」 p. 178
【使徒信条】	
【主の祈り】	
【先週説教】	
【賛美Ⅲ】	オリジナル曲No.1「復活の日の朝」
【聖書朗読】	第Ⅰペテロ2章24節～25節(新約p. 468)
【礼拝説教】	《主はいやし主》
【聖餐式】	
【賛美Ⅳ】	新聖歌166「威光・尊厳・栄誉」 p. 236
【平和祈り】	
【頌 栄】	新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85
【祝祷後奏】	

### ◎本日の聖書箇所【第Ⅰペテロ2章24節～25節】

2:24 キリストは自ら十字架の上で、私たちの罪をその身に負われた。それは、私たちが罪を離れ、義のために生きるため。その打ち傷のゆえに、あなたがたは癒やされた。

2:25 あなたがたは羊のようにさまよっていた。しかし今や、自分のたましいの牧者であり監督者である方のもとに帰った。

## ●ポイント1「主イエスの約束」とは？

### ※ヨハネの福音書14章13節～14節「最後の晩餐にて」(新約p.214)

14:13「またわたしは、あなたがたがわたしの名によって求めることは、何でもそれをしてあげます。父が子によって栄光をお受けになるためです。

14:14 あなたがたが、わたしの名によって何かをわたしに求めるなら、わたしがそれをしてあげます。」

### ※マルコの福音書16章15節～18節「ヨハネ・マルコの家」(新約p.105)

16:15 それから、イエスは彼らに言われた。「全世界に出て行き、すべての造られた者に福音を宣べ伝えなさい。

16:16 信じてバプテスマを受ける者は救われます。しかし、信じない者は罪に定められます。

16:17 信じる人々には次のようなしるしが伴います。すなわち、わたしの名によって悪霊を追い出し、新しいことばで語り、

16:18 その手で蛇をつかみ、たとえ毒を飲んでも決して害を受けず、病人に手を置けば癒やされます。」

## ●ポイント2「主の弟ヤコブの勧め」とは？

### ※ヤコブの手紙5章15節～16節「信仰による祈り」(新約p.464)

5:15 信仰による祈りは、病んでいる人を救います。主はその人を立ち上がらせてくださいます。もしその人が罪を犯していたなら、その罪は赦されます。

5:16 ですから、あなたがたは癒やされるために、互いに罪を言い表し、互いのために祈りなさい。正しい人の祈りは、働くと大きな力があります。

## ◎先週の礼拝メッセージ【カイサリアにおける二年間】

《弁護士テルティロによる告発の弁明の後、総督フェリクスは、パウロに弁明を許可します。その弁明を終えた後の場面になります。

さて、フェリクスは、解放奴隷を地方官に任命するクラウディウス帝の政策によって、紀元52年から59年までユダヤの総督となりました。しかし、彼は弾圧によって治安維持をはかろうとし、カイサリアで混乱が生じた時、ユダヤ人を多数殺害しました。その為、ユダヤ人の代表がローマへ行き、フェリクスを訴えたのです。それゆえ、皇帝ネロはフェリクスに代えてフェストゥスをユダヤの総督にするのです。

さて、数日後のことです。フェリクスは妻ドルシラと共に、パウロから主イエスに対する信仰について、話を聞きました。この時、聖霊が働かれて、信仰告白へと導かれましたが、恐れを感じ、決断を延したのです。これは、彼の妻ドルシラとの結婚の罪が示されたのです。

ドルシラとは、ヘロデ・アグリッパ1世の3番目の子で、紀元38年に生まれ、アグリッパ2世の妹に当たります。兄アグリッパ2世は、ドルシラをシリアのアジザス王と結婚させました。しかし、ドルシラは夫と離婚し、フェリクスと結婚したのです。罪を犯した者は、恐れるのです。なぜなら、霊の世界においては、罪の裁きがあることを、無意識のうちに、私たちに刻み込まれているからです。この時、神様は、フェリクスとドルシラに悔い改めの機会を与えられたのです。やがて2年が過ぎ去り、フェリクスとドルシラは失脚し、フェストゥスが彼の後任になります。残念ながら、フェリクスとドルシラは救いを受け取ろうとはしませんでした。それは、決心を伸ばしただけではなく、神と富の両方に使えることは出来ないことを、改めて私たちに教えているのです。

神の言葉が語られますと、生きた言葉になります。聖書の言葉は、紛れもなく「御霊の剣」なのです。私たちは、神の言葉を受け入れました。これからは、主の証人として、主の栄光を現わして行くのです。》

## ◎お知らせ

※次回第一主日礼拝は、5月7日(日)午前10時からです。